



ほけんだより

保育園夢未来錦糸町園



朝晩だけでなく、日中も肌寒くなってきました。11月7日は“立冬”で、暦の上では冬になります。冬への準備期間になるこれからは健康管理に気をつけて、風邪の予防である“うがい”と“手洗い”を積極的に行っていきましょう。

“インフルエンザの予防接種について”

※赤ちゃんの接種は？

嘱託医の先生は、生後6ヶ月を過ぎたらインフルエンザの予防接種を受ける事を推奨しています。赤ちゃんは接種をしても免疫をつける事が難しく効果が出づらいとはいえ、打たないよりはインフルエンザにかかりにくく、かかったとしても軽く済む可能性があります。子どもとお年寄りでは重症化しやすく、また、子どもが自発的に発症させる病気ではないという事を頭に入れ、接種を受けるようにしましょう。

※2回目は必要？

子どもは大人より免疫力が低いので、2回打って効果を上げます。1回打った時の10倍の効果があるとも言われています。

※卵アレルギーがある場合は？

ワクチンには極微量の卵製品が含まれています。接種前にアレルギーの有無を医師に伝え判断を仰ぎましょう。重度のアレルギーでなければ大丈夫と言われていますが、皮内テストを行っている病院で検査をしてから受けるとよいでしょう。

黄色い鼻水と、白っぽいさらさらした鼻水の違いは??

黄色い鼻水は、細菌やウイルスによって炎症を起こしている証拠です。細菌などと戦って死んだ白血球の死骸が黄色い鼻水となって出てきます。

白っぽい鼻水は、バイ菌や異物が鼻から侵入してきているときに、それを押し出そうとしている物質になります。まだ細菌感染はしていません。保育園でも鼻水の出る子が増えてきました。季節の変わり目です。体調の変化に注意していきましょう。

11月の0歳児の検診は、

11月16日(木) 11:00~です。

(全クラス身体測定を行います。)

10月に全園児対象の健康診断を受ける事ができなかったお子様は、11月に受けますのでお休みをしないように気を付けましょう。

今年はインフルエンザのワクチンが少ないって本当？

嘱託医の先生によると、初期の生産が遅れた事と、10月・11月に接種が混み合う為であり、すごく少ないわけではないそうです。ワクチンの効果が出るまでには2週間以上かかりますので、早めの接種を心掛けましょう。

嘱託医の先生から…

賛育会病院では、RSウイルスの患者さんが見られますが、

終息に向かっていきます。これからは感染症が流行する季節に入ります。

体調に気をつけて過ごしていきましょう。

